



# 動物レスキュー通信

2015年1月 第20号 (平成27年1月1日発行)

発行元 一般財団法人 国連世界動物救済支援機構 詩月財団

詩月(しづく) : 詩月財団 理事長  
愛玩動物飼養管理士 一級  
お問い合わせ : sizuku.foundation@gmail.com

## 殺処分について考える③ 飼い主、一般消費者



皆さま、明けましておめでとございませう。本年もどうぞ宜しくお願い致します。  
「殺処分について考えるシリーズ③」は、①生体展示販売(第18号)、②ブリーダー(第19号)に続き「飼い主、一般消費者」に付いてお話ししていきます。現在、日本では約1,100万頭の犬と、約1,000万頭のネコが飼育されていると言われていて、その中で犬ネコ合わせて2,100万頭以上が飼育されています。犬の場合は畜犬登録が義務付けられていますから頭数はある程度正確に把握できているはずですが、ネコに至っては登録がありませんし、餌を与えられているラネコや地域猫を合わせるともつと多くなるはずで、2014年の子供の数(0歳~14歳)が約1,640万人ですから、いかに犬ネコが多く飼育されているかを感じて頂けるはずです。これにハムスターやウサギ、小鳥や熱帯魚、爬虫類、昆虫までも合わせると、多くの人が人間以外の生き物と共に生活している事が分かります。これらを見て分かるように、もはや日本では「ペットブーム」ではなく、動物と共生する事はライフスタイルとして定着しているとも言っても過言ではないと思います。このライフスタイル化されている犬やネコとの生活の中で、これから犬ネコを飼いたい人や既に飼い主になっている人が考えないといけない事とは何なのでしょうか？

### ブームには絶対に乗らないで！

犬やネコには多くの種類があります。

彼らは人間の都合に合わせて徐々に改良され現在に至ります。特に犬ではその違いが非常に分かりやすく、猟犬、牧畜犬、使役犬、愛玩犬などがあり、犬種によって違いがはっきりしていて、飼い主さんのライフスタイルによっては向いていない犬種も出てきます。その犬種の特徴を理解しないで飼いはじめるとはとても危険です。ご存知の方もいらっしゃると思いますが、以前ある漫画におとなしく従順なシベリアンハスキーが登場し、多くの人がシベリアンハスキーの特徴も知らないまま飼いはじめました。シベリアンハスキーは名前前から分かるようにシベリアからカナダ北極圏にかけてのツンドラ地帯を原産地とする大型犬で、人や荷物の運搬用にそりを引く犬として重宝されてきた犬種です。ですから人には慣れませんが、ものすごい量の運動が必要で、とても力が強く、子供の時には出来ていたお散歩が、成犬になるとお手上げに…。などという現象に陥り大層に保健所に持ち込まれたり、山林に置き去りにされる、というような事がおきてしまったのです。このようにその動物の事をよく理解せず、ブームに乗って簡単に飼い始めると、動物はもろろ飼い主さんまでもが不幸になつてしまふ可能性があります。これは何も大型犬に限った事ではなく、どんな犬種でも飼いやすいと思われている小型犬でも起こりうる事で、特性を理解していない為にワンちゃんにストレスが溜まってしまい、飼い主さんにとって迷惑となつて問題行動を起し、手に負えなくなつて手放す、という事にも

### ネコの殺処分

なつてしまいます。こんな不幸な品種によるブームを起さない為には、発信する側のテレビなどのメディアや企業などに責任を追及するのではなく、消費者、飼い主である私たちが様々な情報に敏感に反応できるようにアンテナを立て、正しい知識を持ち、メディアに踊らされることのないようにしなければなりません。そして、ペットショップからの購入ではなく保健所や保護施設からの譲渡という選択をして下さい。

皆さんの努力で、犬ネコの殺処分数は年々減少傾向にあります。それは犬の殺処分数が減っているという事で、ネコの殺処分数というのは残念ながら横ばい状態が続いているのです。その理由として、先にも言いましたが犬は畜犬登録が義務付けられていて、放し飼いは認められていませんが、ネコに関しては完全室内飼いを推奨しているものの義務化されている訳ではありません。今でも飼いネコが自由に外出できる光景を見る事もありますが、飼いネコだけではなく「ラネコ」も存在しています。その中で去勢、避妊をしていないネコが外で繁殖し産まれた子猫が保健所に持ち込まれているのです。保健所の引き取り数の65%がネコで、全体の殺処分数の76%がネコ。そして注目して欲しいのがこの殺処分数の61%が子猫だということです。そしてこの子猫たちの80%が飼い主のいない子猫なのです。この結果を見て、殺処分を減らす為には、ネコの繁殖コントロールがいかにかに重要かという事を感じて頂けたと思います。ネコの繁殖コントロールはネコの飼い主はもろろ地域猫活動もとても重要になっています。地域猫活動やネコの繁殖コントロールに付いて、くわしくは別の機会に。(詩月)